

大問1には、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」をまとめて出題しています。また「書くこと」、「読むこと」の各領域に、□の「関心・意欲・態度」の観点を設けています。該当する領域において、□に示したような「関心・意欲」の見える言語活動を行っていれば、概ね満足もしくは十分満足という考え方です。

伝言・言語的・文化的事項										大問領域等	
①										中間	
②										小問	
③										審	
○ ①②のうち、いずれか一問を正しく書いている。										概ね満足できる解答状況	
○ ①②のうち、いずれか一問を正しく書いている。										成績処理システムでは 1 と入力すること	
○ 二問とも正しく書いている。										十分満足できる解答状況	
正										成績処理システムでは 2 と入力すること	
午											
親											
遠											
kusunoki											
○ 二つとも正しく書いている。											
イ・オ											
(主語)くじゃくが											
(述語) 広がっている											
(完答)											
イ ↓ ア ↓ ウ											
(完答)											
しつ問をうける人が、答えやすいインタビューにするために											
ウ											
ア											
エ ( ⑨・⑩は順不同 )											
授業改善の視点：聞きたいこと(話の中心)を、どのような言葉で言えば伝わるかを考えたり、インタビューにおける視点を明確にして練習したりする力を育成する。											

大問 領域等		3				4									
中間	小問	審	(1)	(2)	(3)	(4)	態意関	(15)	(14)	(3)	(2)	(1)	書くこと		
概ね満足できる解答状況		成績処理システムでは 1 と入力すること	・ ハーモニカをすすきのねもとおくこと			○ 文を部分的に抜き出して書いている。 目をさましたとたん 子ぎつねのことをおもいだしました。 いそいそがえると 野原にいつてみました。 目をさましたとたんに、子ぎつねのことをおもいだしました。	等	○ 花たばをもらったことの嬉しさや喜びのみを書いていく。 花たばをもらってうれいな。 花たばをくれてありがとう。 わざわざつんでくれてありがとう。	等	○ おばあさんになって書こうとしている。			授業改善の視点：指示語等を把握して正確に読み、場面の移り変わりと中心人物の心情変化を関連させながら、根拠となる文に基づき想像して読む力を育成する。		
十分満足できる解答状況		成績処理システムでは 2 と入力すること	・ じぶんのたいせつなハーモニカをすすきのねもとおいてとりかえつこすること ・ ハーモニカをとりかえつこすること	ウ	○ 正確に、一文を抜き出して書いている。 ・ すずおばあさんは、目をさましたとたんに、子ぎつねのことをおもいだしました。 ・ 「あの子は、ハーモニカをちゃんとみつめてくれたかしらねえ」 ・ いそいそがえると、野原にいつてみました。	等	○ 花たばをもらったことやわざわざ摘んでくれたことと、子ぎつねがハーモニカに気付いて取り替えてくれた（受け取ってくれた）こととの両方に対する、嬉しさ・喜び・お礼の気持ちを書いていく。 ・ 子ぎつねが、ハーモニカに気づいてくれてよかったな。わざわざつんできた花を、花たばにしてプレゼントしてくれてありがとう。 ・ ハーモニカをとりかえてきて、よかったな。りんどうの花たばもありがとう。 ・ 子ぎつねが、ハーモニカをもらってくれてよかったな。おれいの気持ちでわざわざつんで、花たばにしてくれたのかな。ありがとう。	等	○ おばあさんの嬉しい気持ちや喜んでいく気持ちを想像して書こうとしている。	か。だんだんさむくなってきましたが、お元気ですか。	イ	ウ（①⑦・①⑧は順不同）	○ 【しょうたいじよう①】【しょうたいじよう②】から、書き加える二文をすべて書き抜くなど、「教えてくださったことをいかして頑張つて書いたこと」「呼びかけ」の順に書いている。 （二文を一文にまとめて書いても可） ・ 木村さんが教えてくださった、筆のはらい方などをいかして、がんばつて書きました。 ・ ぜひ、おいでください。	○ 【しょうたいじよう①】【しょうたいじよう②】から、書き加える二文をすべて書いていく。 （二文を一文にまとめて書いても可） ・ がんばつて書きました。 ・ ぜひ、おいでください。 ・ ぜひ、おいでください。 ・ 木村さんが教えてくださった、筆のはらい方などをいかして、がんばつて書きました。	○ 【しょうたいじよう①】【しょうたいじよう②】から、書き加える二文をすべて書いていく。 （二文を一文にまとめて書いても可） ・ がんばつて書きました。 ・ ぜひ、おいでください。 ・ ぜひ、おいでください。 ・ 木村さんが教えてくださった、筆のはらい方などをいかして、がんばつて書きました。
授業改善の視点：二つの文章をもとによりよい表現に書き直し、相手や目的に応じた手紙（招待状）を書く力を育成する。															